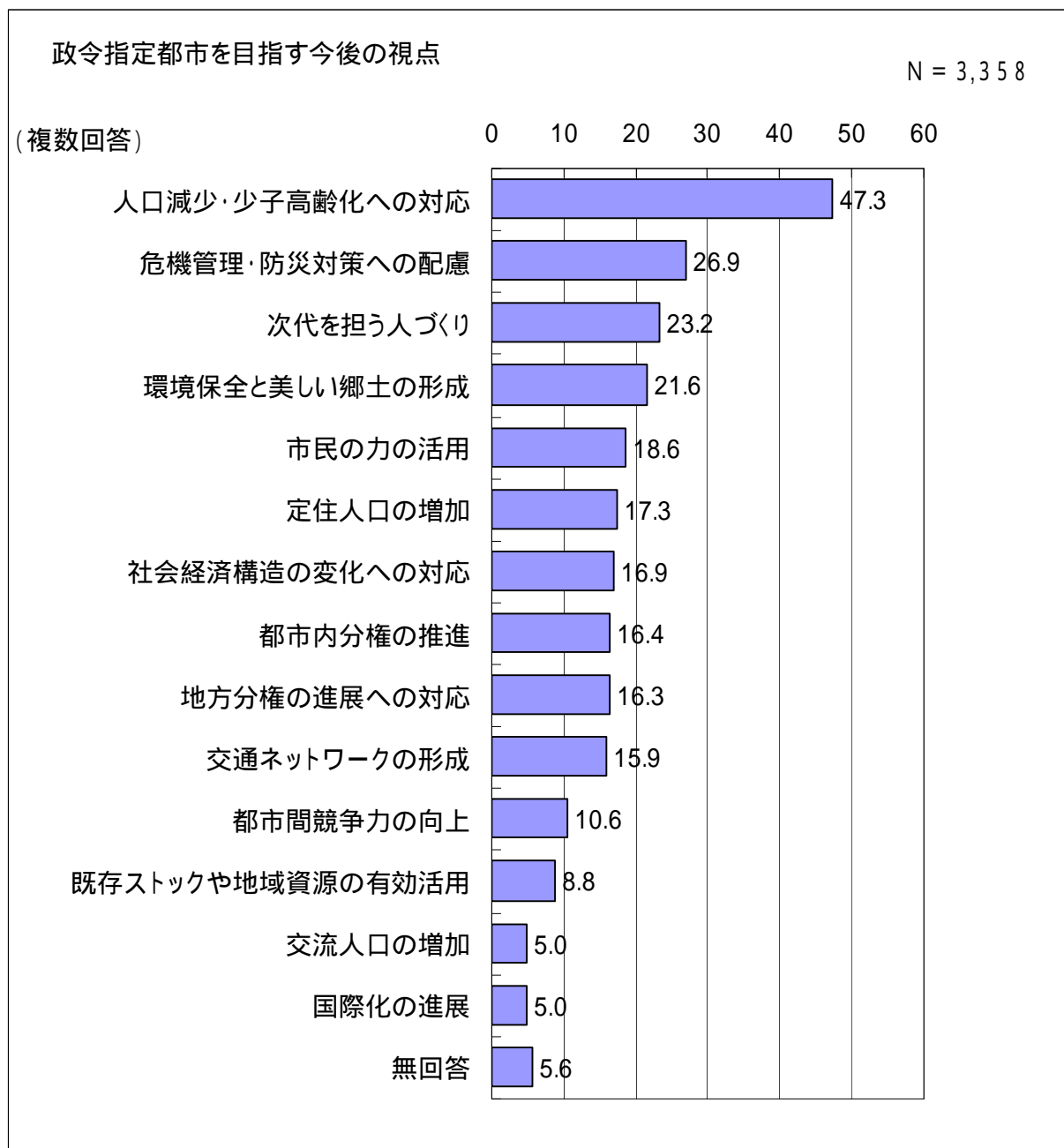


第3章 政令指定都市を見据えたまちづくりについて

(1) 政令指定都市を目指す今後の視点

「人口減少・少子高齢化への対応」が最多で47.3%

問8 政令指定都市を目指す岡山市は今後どのような視点を大切にしまちづくりを進めるべきだと思いますか。(複数回答)

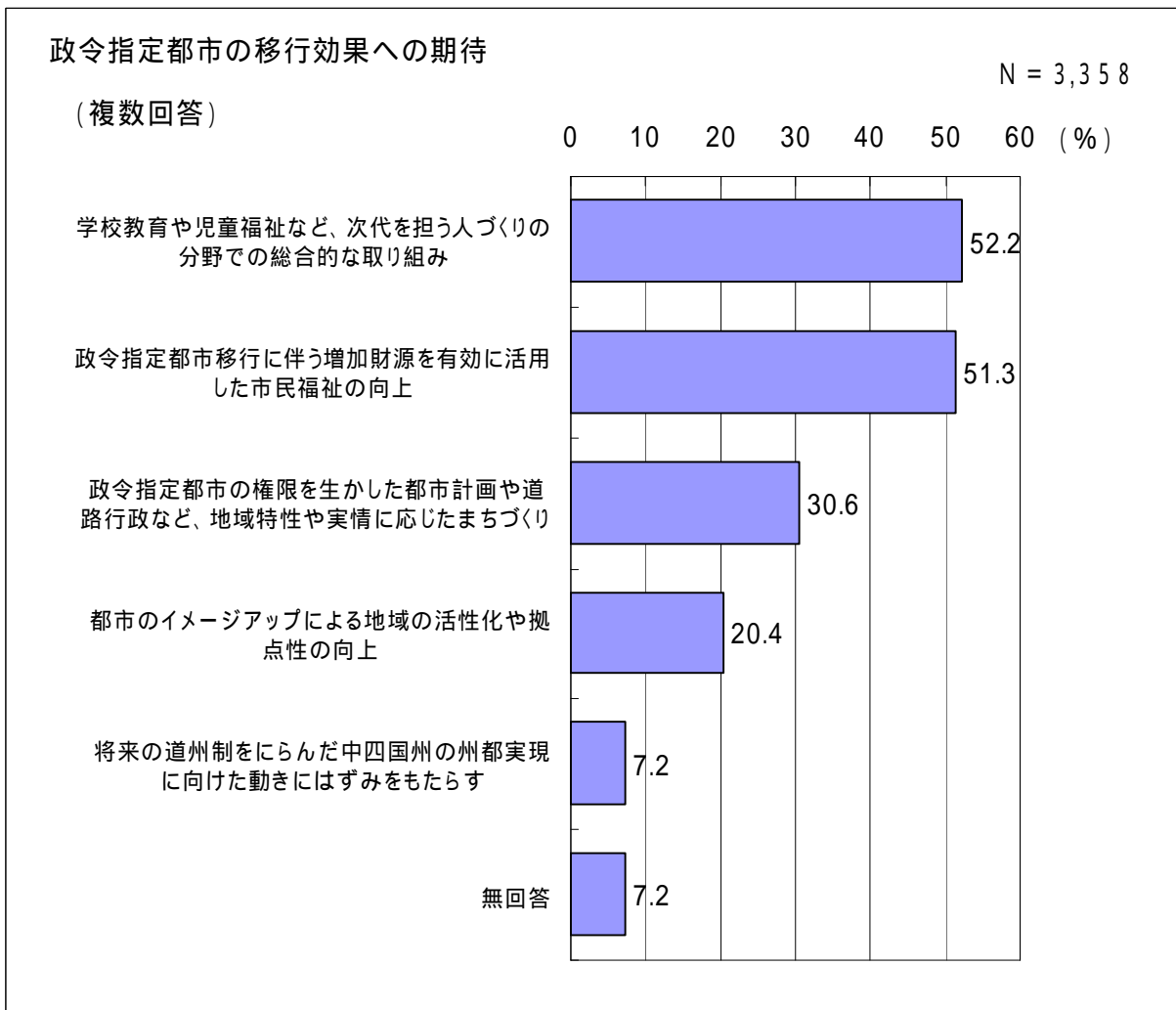


政令指定都市をめざす今後の視点についてたずねたところ、「人口減少・少子高齢化への対応」(47.3%)が最も多くなっている。次いで「危機管理・防災対策への配慮」(26.9%)、「次代を担う人づくり」(23.2%)が続いている。

(2) 政令指定都市の移行効果への期待

「学校教育や児童福祉など、次代を担う人づくりの分野での総合的な取り組み」や「政令指定都市移行に伴う増加財源を有効に活用した市民福祉の向上」への期待が大きい

問9 岡山市が政令指定都市に移行することによって、どんな効果を期待しますか。
(複数回答)



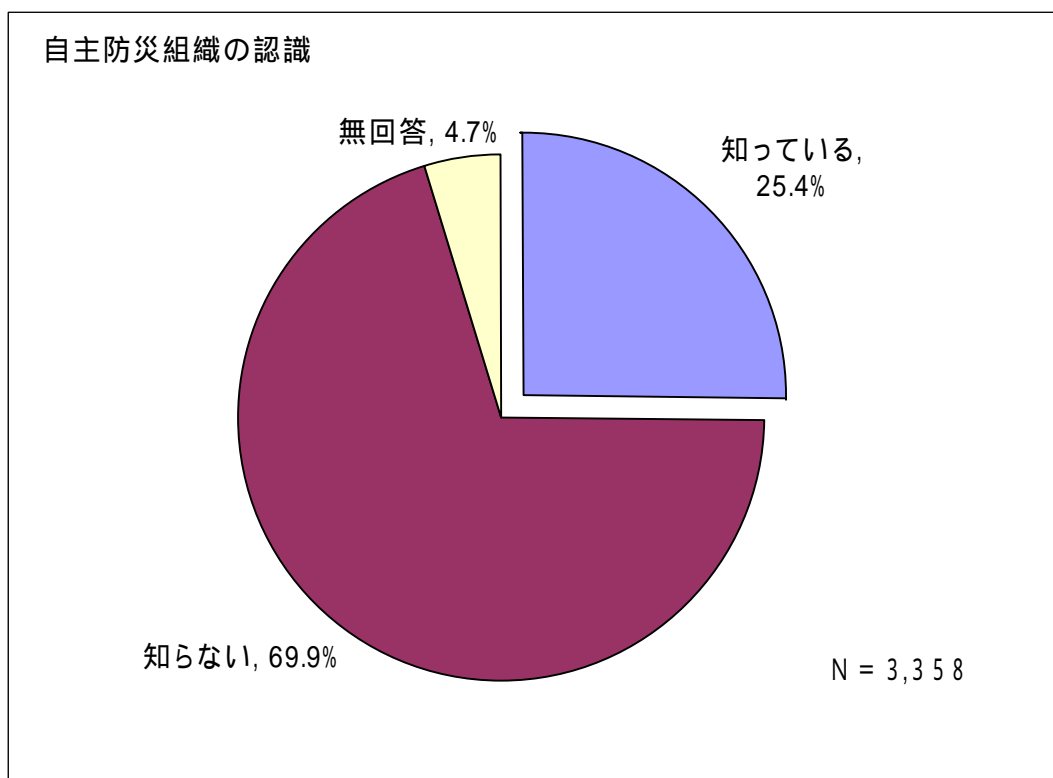
政令都市に移行することによってどのような効果を期待するかとたずねたところ、「学校教育や児童福祉など、次代を担う人づくりの分野での総合的な取り組み」が52.2%で最も多く、次いで「政令指定都市移行に伴う増加財源を有効に活用した市民福祉の向上」(51.3%)が続いている。

第4章 自主防災組織について

(1) 自主防災組織の認識について

「知っている」人が25.4%

問10 自主・共助の精神のもと各单位町内会自主防災組織を設立し、地域の防災力の強化に取り組んでいます。あなたは自主防災組織を知っていますか。(単数回答)

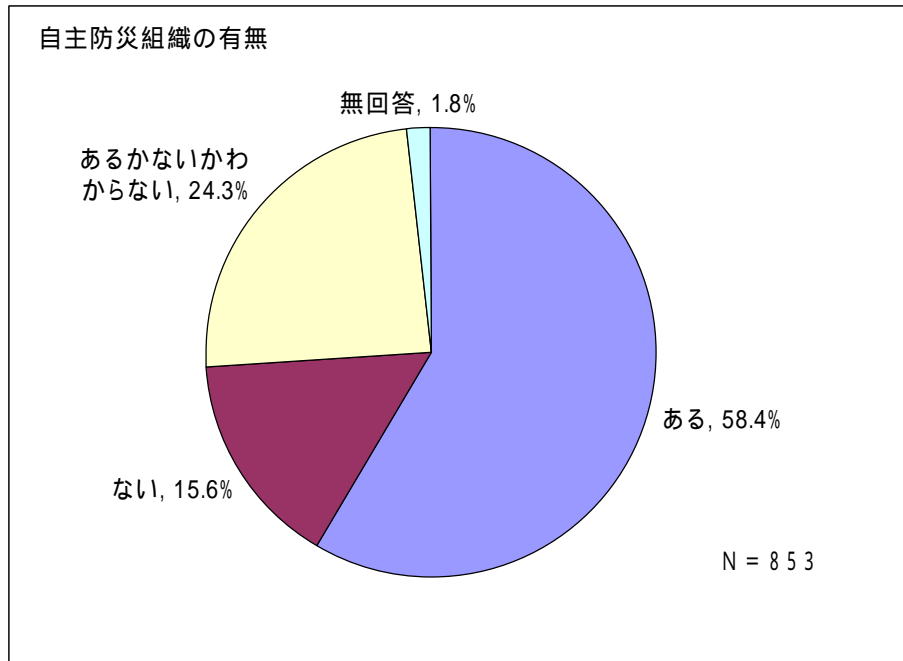


自主防災組織を知っていますかと、たずねたところ、「知っている」と回答した人の割合は25.4%で、「知らない」(69.9%)と答えた人の3分の1程度となっている。

(2) 住んでいる地域への自主防災組織について

「ある」と答えた人が 58.4%

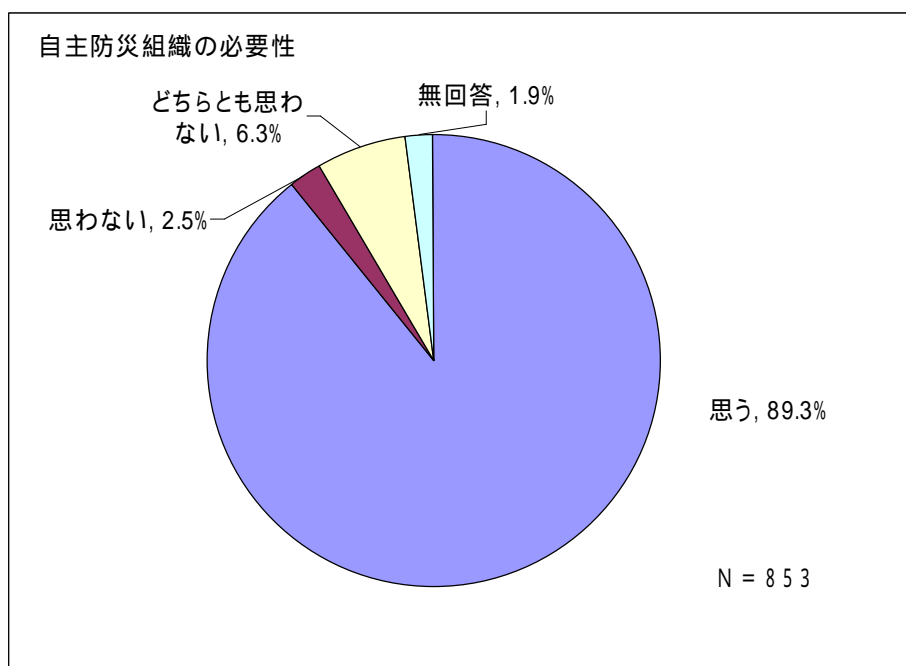
問 10-1 問 10 で「知っている」と答えられた方におたずねします。あなたの住んでいる地域には自主防災組織がありますか。



あなたの住んでいる地域には、自主防災組織がありますかとたずねたところ、「ある」と答えた人は 58.4%、「ない」と答えた人は 15.6%となっている。

問 10-2 自主防災組織は必要だと思いますか。

「思う」と答えた人が 89.3%

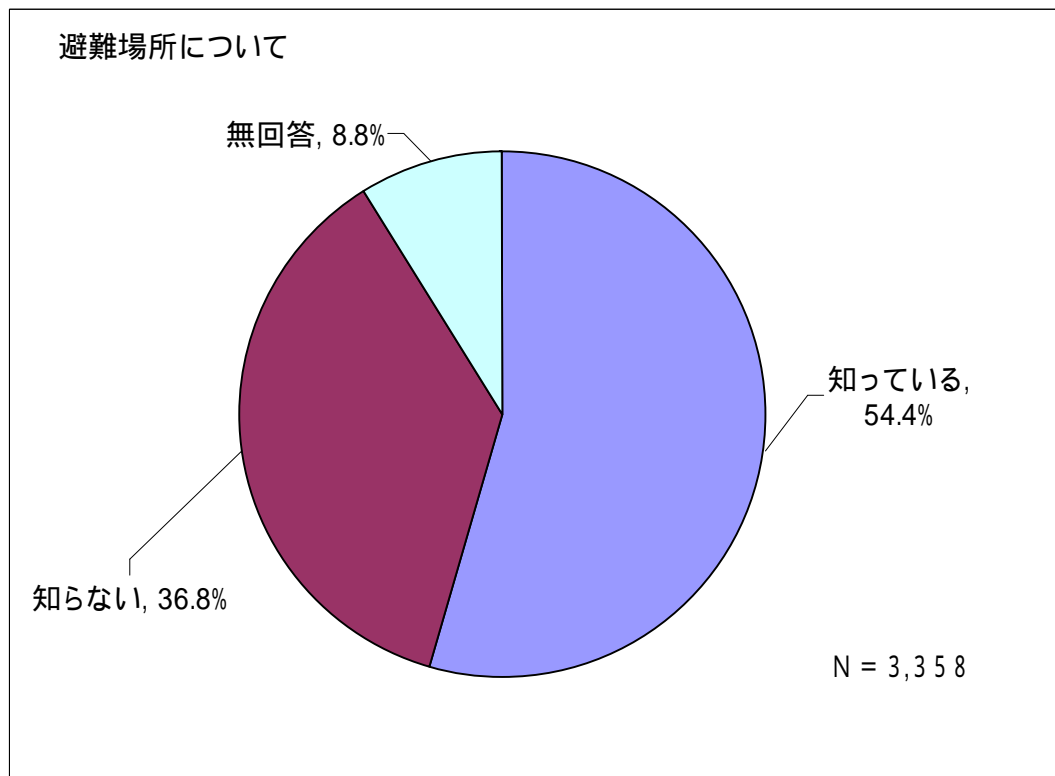


自主防災組織が必要かとたずねたところ、「思う」が 89.3%で最も多く、「思わない」は 2.5%となっている。

(2) 住んでいる地域の避難場所について

「知っている」人が 54.4%

問11 あなたの住んでいる地域の避難場所を知っていますか。



あなたの住んでいる地域の避難場所について知っているかたずねたところ、「知っている」(54.4%)が「知らない」(36.8%)を上回っている。

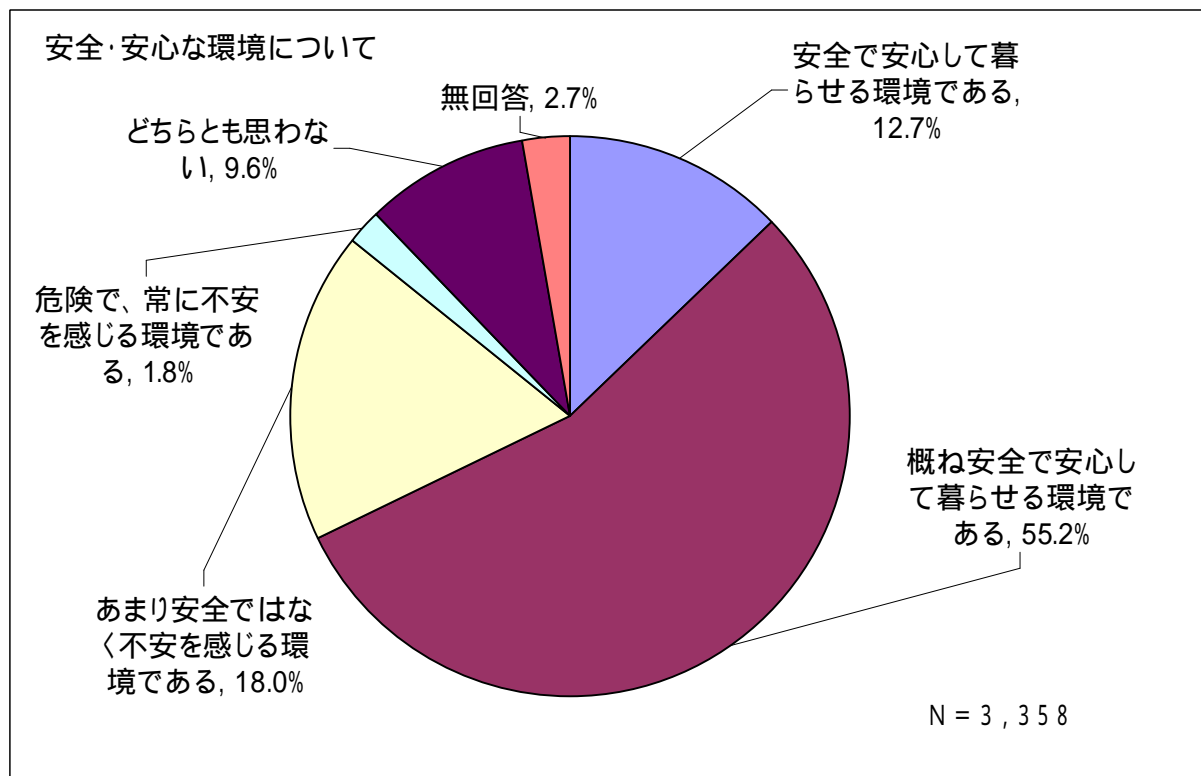
第5章 安全・安心な地域づくりについて

(1) 住んでいる地域での安全・安心環境について

「概ね安全で安心して暮らせる環境である」が最も多く 55.2%

問12 あなたの住んでいる地域は、安全で安心して暮らせる環境にありますか。

(単数回答)

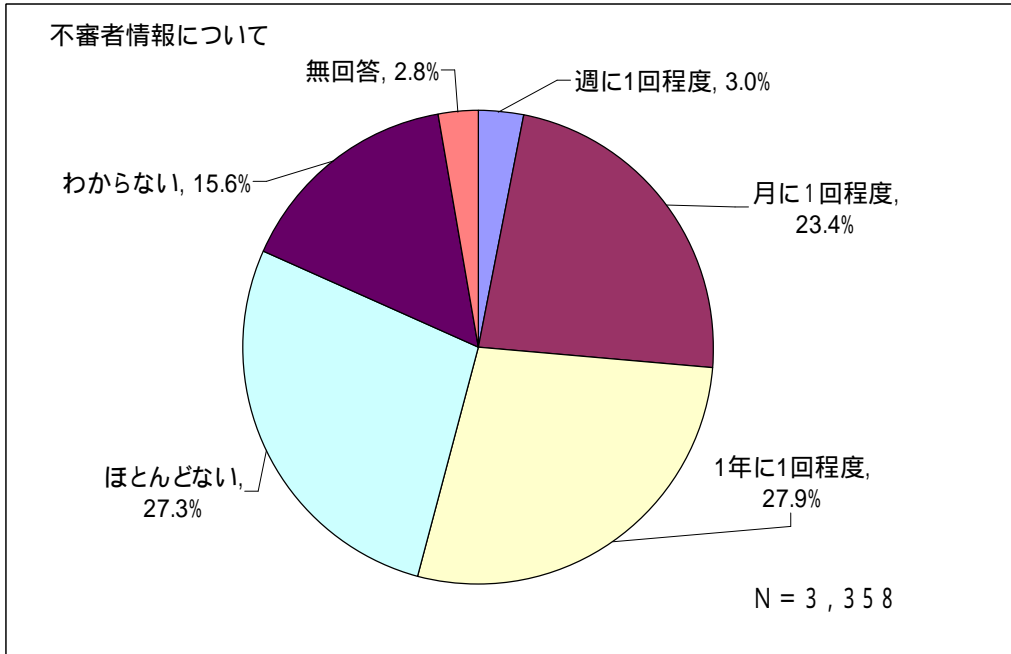


あなたの住んでいる地域は、安全で安心して暮らせる環境にあるかたずねたところ、「概ね安全で安心して暮らせる環境である」が 55.2%、「安全で安心して暮らせる環境である」が 12.7%となっている。反対に、「あまり安全でなく不安を感じる環境である」が 18.0%、「危険で、常に不安を感じる環境である」が 1.8%となっている。

(2) 住んでいる地域での不審者情報について

「1年に1回程度」が27.9%

問13 あなたの住んでいる地域では、不審者情報等を含めたあらゆる犯罪に関わる情報をどれくらいの頻度でききますか。(単数回答)

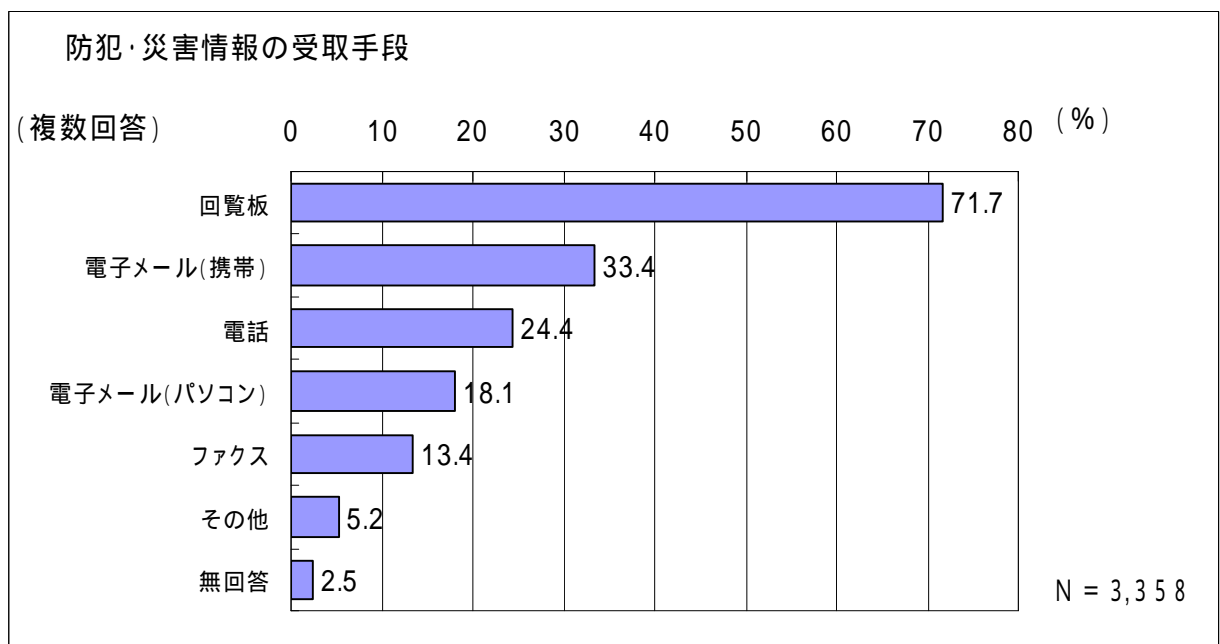


不審者情報等を含めたあらゆる犯罪に関わる情報をどれくらいの頻度でききますかとたずねたところ「1年に一回程度」が27.9%と最も多く、次いで「ほとんどない」が27.3%となっている。

(3) 不審者情報等含む防犯・災害情報の受取手段

防犯・災害情報を受け取る手段は「回覧板」で71.7%

問14 不審者情報等を含む地域の防犯情報や災害情報を受け取るために使ってよいと思う手段はどれですか。(複数回答)

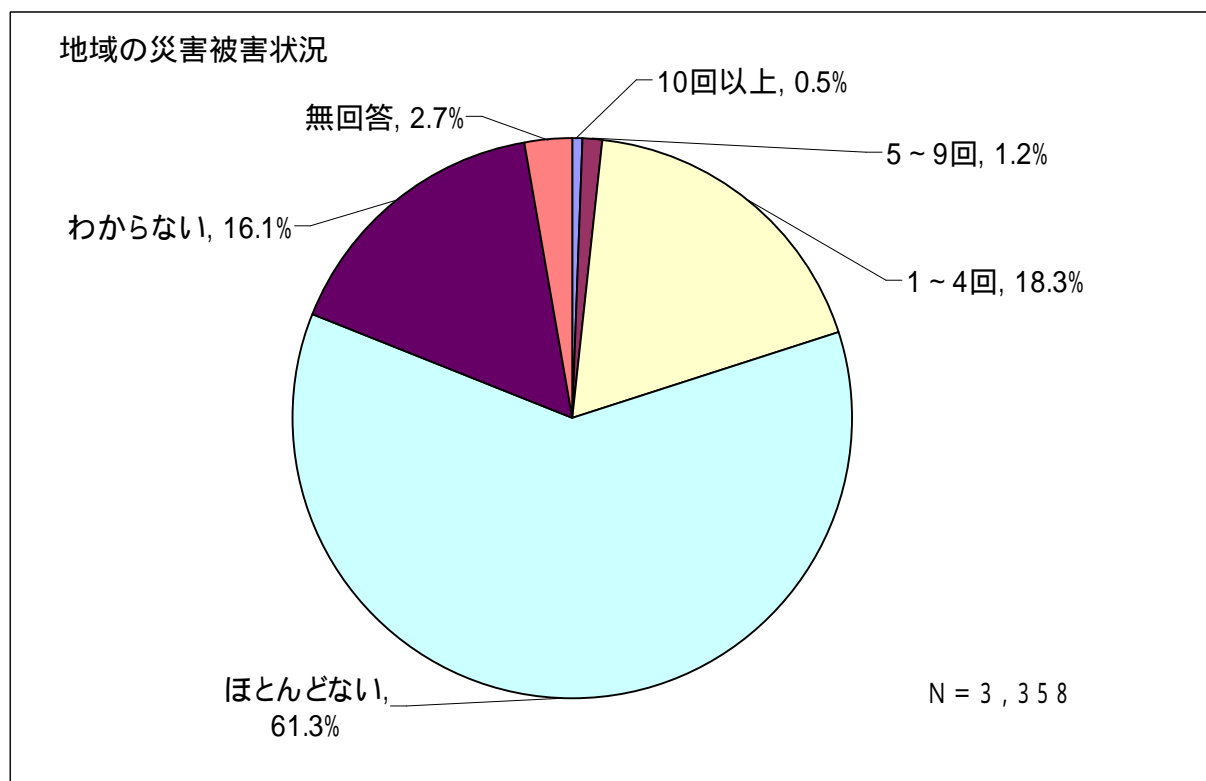


防犯情報や災害情報を受け取るために使っても良いと思う手段はどれですかとたずねたところ、「回覧板」が71.7%と突出して多い。

(4) 住んでいる地域の災害被害状況

災害による被害は「ほとんどない」が61.3%

問15 あなたの住んでいる地域では、災害による被害をいままで何回程度受けたことがありますか。(単数回答)

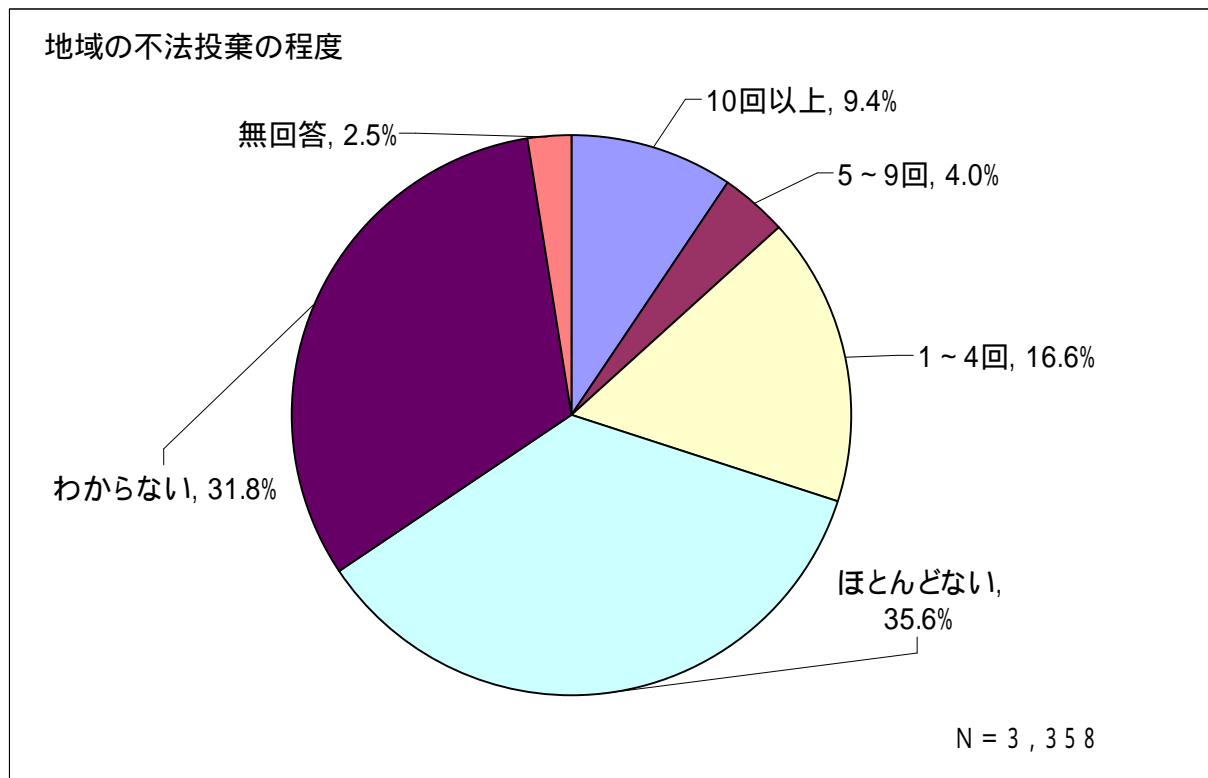


あなたの住んでいる地域では、災害による被害をいままで何回程度受けたことがあるかとたずねたところ、「ほとんどない」が61.3%と最も多く、次いで被害として「1~4回」(18.3%)受けたことがあると続いている。

(5) 住んでいる地域の不法投棄の程度

不法投棄について「ほとんどない」が35.6%、「1回から4回」が16.6%

問 16 あなたの住んでいる地域では不法投棄が行われていたことがいままでにどの程度ありますか。

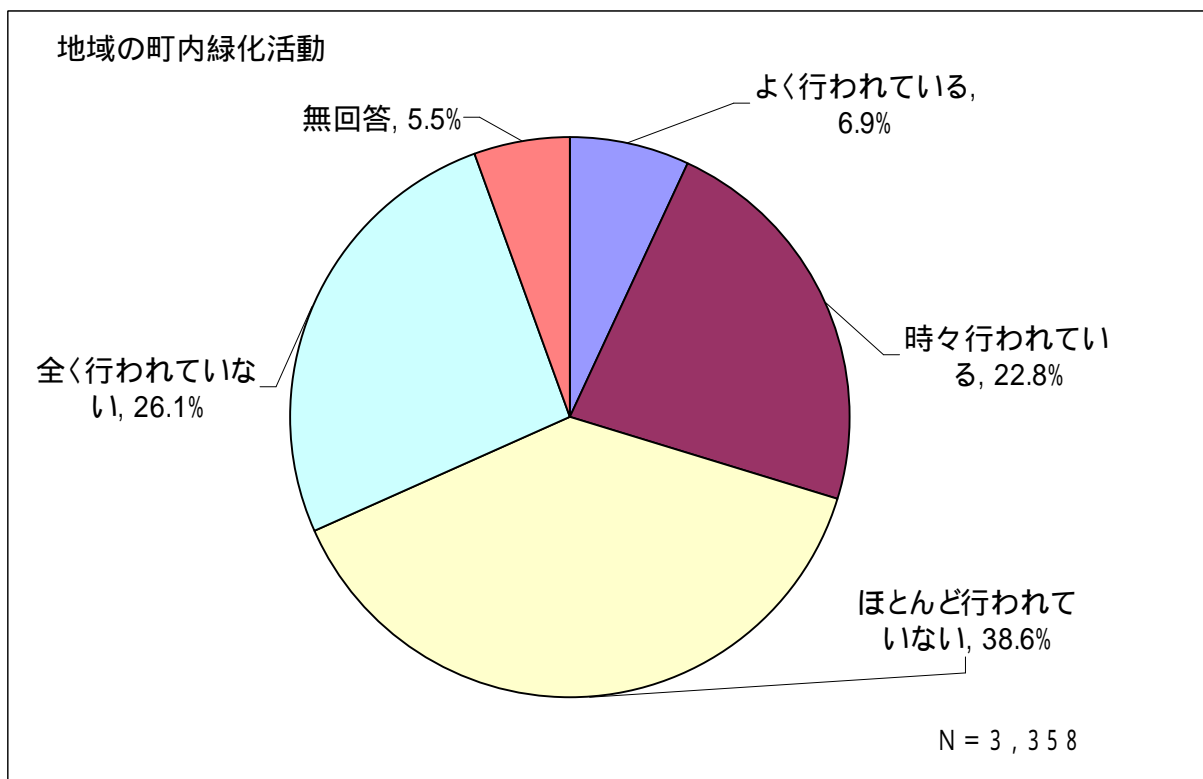


住んでいる地域で不法投棄が行われていたかをたずねたところ、「ほとんどない」が35.6%、「1~4回」が16.6%となった。

(6) 住んでいる地域の町内緑化活動(花いっぱい運動)について

「よく行われている」、「時々行われている」を合わせると29.7%

問17 あなたの住んでいる地域では町内緑化活動(花いっぱい運動)は行われていますか。

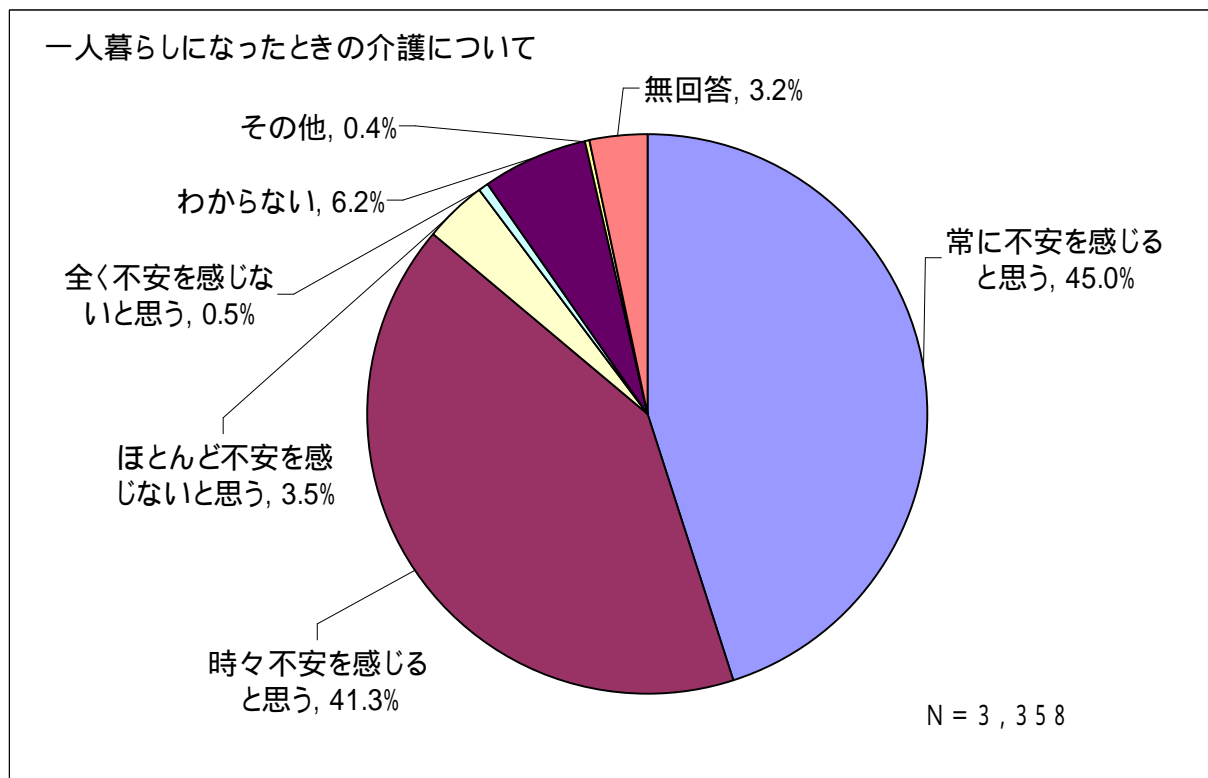


あなたの住んでいる地域では町内緑化活動(花いっぱい運動)は行われていますかたずねたところ「よく行われている」(6.9%)、「時々行われている」(22.8%)となり、両者をあわせて29.7%となっている。

(7) ご自身が高齢者で一人暮らしになった場合の介護について

「常に不安を感じる」と答えた人が最多で 45.0%

問 18 あなたが高齢者で一人暮らしになった場合に、介護などの不安をどの程度感じると
思いますか。(現在一人暮らしの方は現状でお答えください) (単数回答)

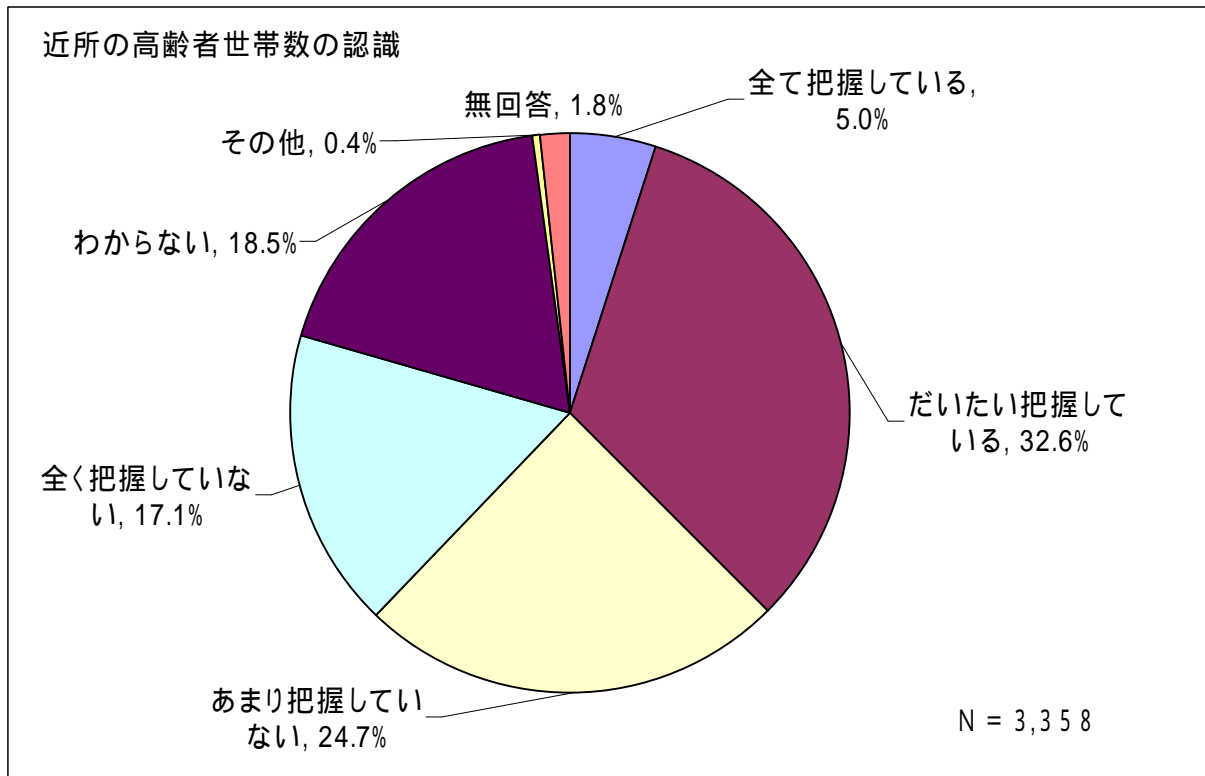


「常に不安を感じる」が 45.0%、「時々不安を感じる」が 41.3%と不安を感じると考えている人が多い。

(8) 住んでいる近所の高齢者世帯数の認識について

「全て把握している」、「だいたい把握している」を合わせると 37.6%

問 19 あなたの住んでいる近所には、高齢者のみの世帯は、何世帯程度あるか認識していますか。(単数回答)

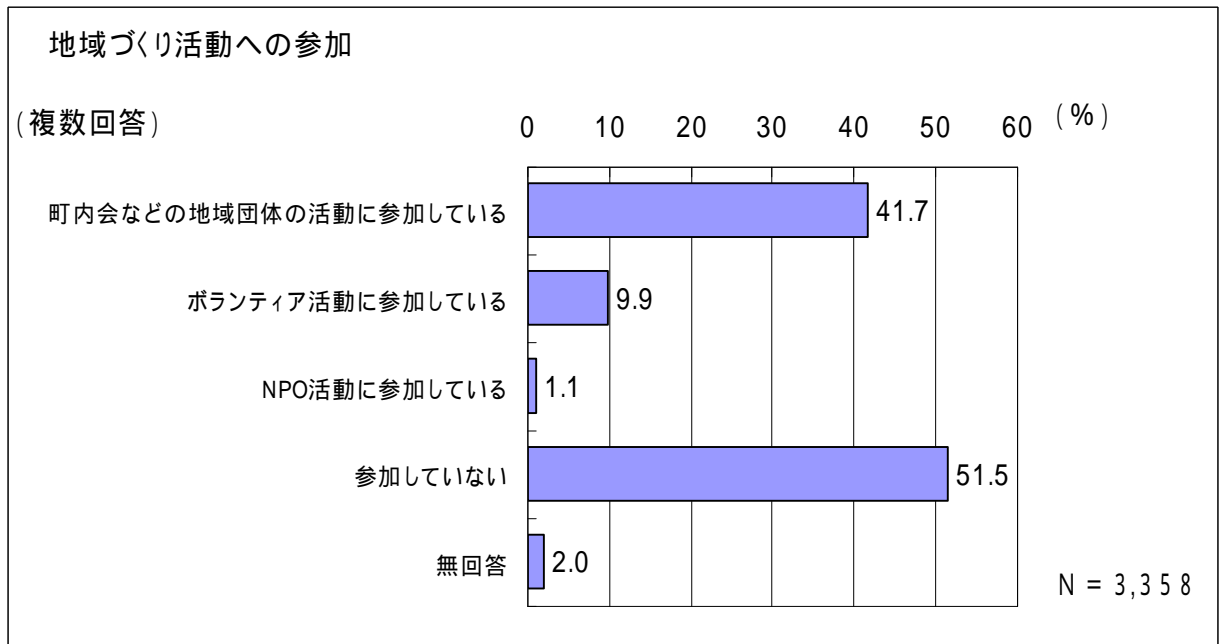


あなたの住んでいる近所には、高齢者のみの世帯は、何世帯程度あるか認識しているかたずねたところ、「全て把握している」が 5.0%、「だいたい把握している」が 32.6%となっている。

(9) 地域づくり活動への参加について

「町内会などの地域団体の活動に参加している」と答えた人は41.7%

問20 地域づくり活動に参加していますか。(複数回答)



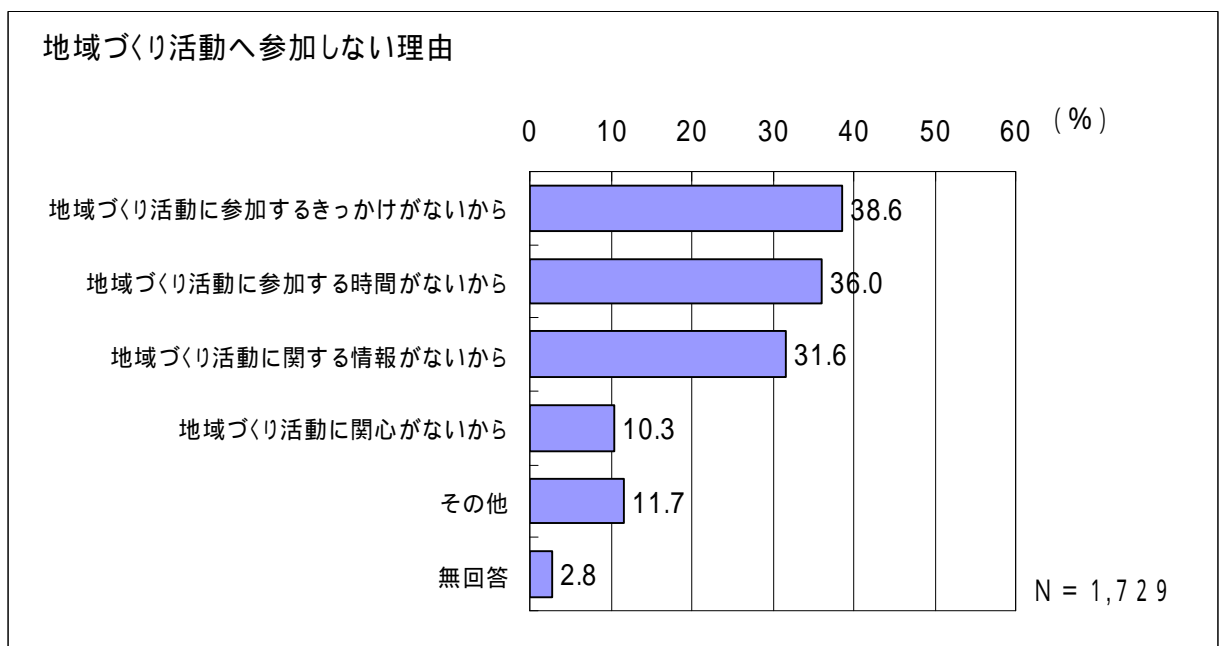
地域づくり活動に参加しているかたずねたところ、「町内会などの地域団体の活動に参加している」が41.7%、「ボランティア活動に参加している」(9.9%)、「NPO活動に参加している」(1.1%)であった。

(10) 地域づくり活動へ参加していない理由

地域づくり活動へ参加していない理由は、「地域づくり活動に参加するきっかけがないから」

問20で「参加していない」と答えられた方におたずねします。

問20-1 地域づくり活動に参加していない理由は(単数回答)

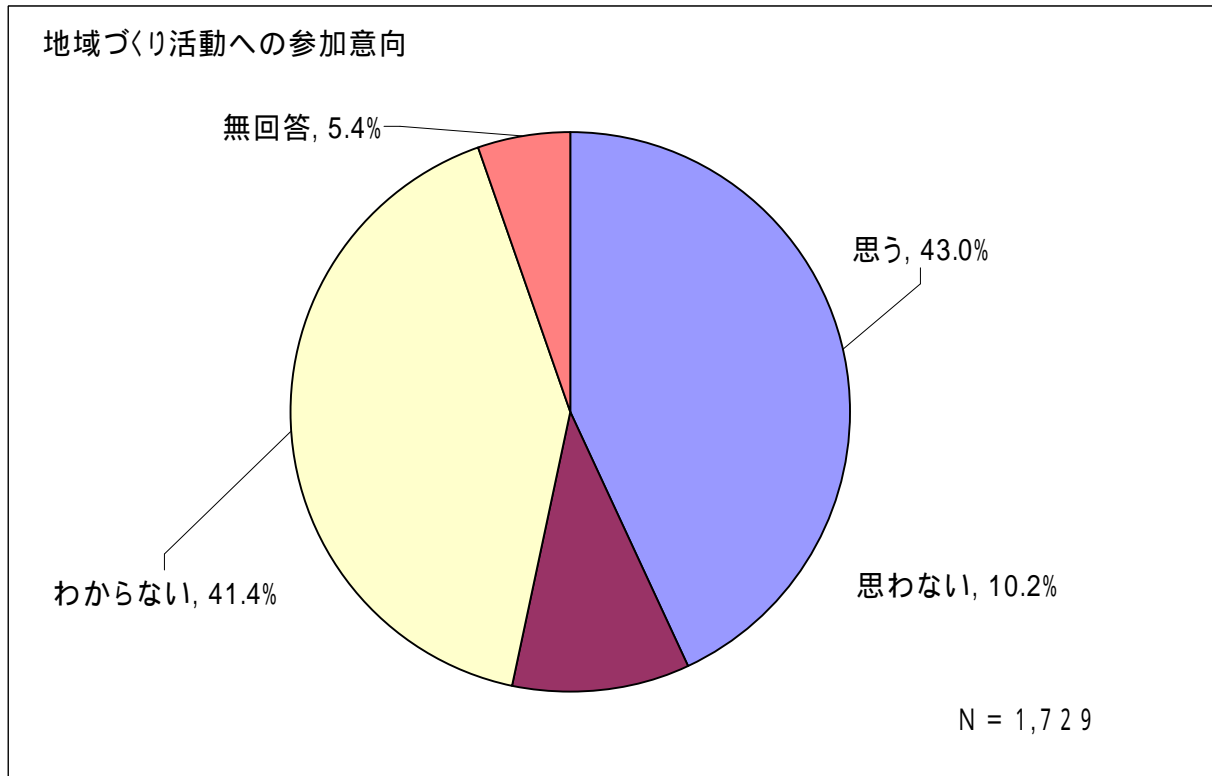


地域づくり活動へ参加していない理由は、「地域づくり活動に参加するきっかけがないから」が最多で38.6%であった。

(11) 参加する意思について

条件が整えば、「参加してみようと思う」人が 43.0%

問 20 - 2 不参加の方へ条件が整えば、今後地域づくり活動に参加してみようと思いますか。
(単数回答)



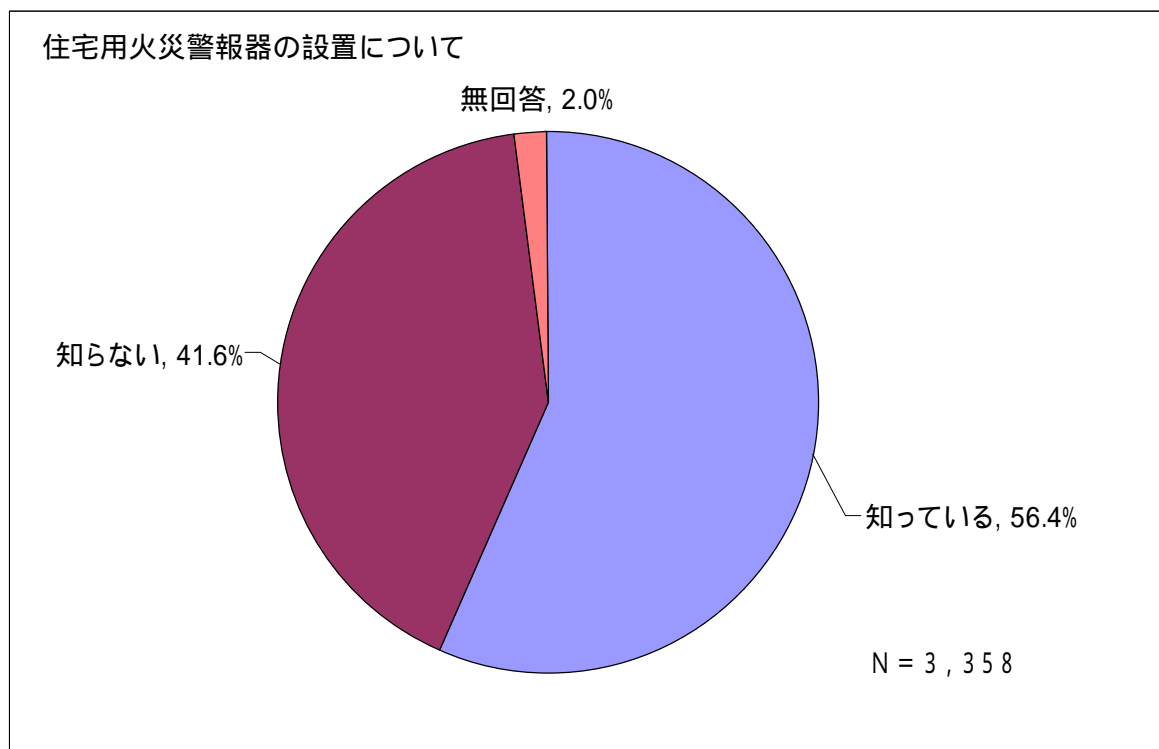
不参加の方へ条件が整えば、今後地域づくり活動に参加してみようと思うかたずねたところ、参加してみようと「思う」と回答した人の割合は、43.0%であり、参加しようとして「思わない」人の10.2%を大きく上回っている。

第6章 「住宅用火災警報器」の設置について

(1) 「住宅用火災警報器」を設置する義務についての認識

設置義務について「知っている」と答えた人が56.4%

問21 消防法が改正され、住宅の寝室に「住宅用火災警報器」を設置することが義務付けられたことを知っていますか。(単数回答)

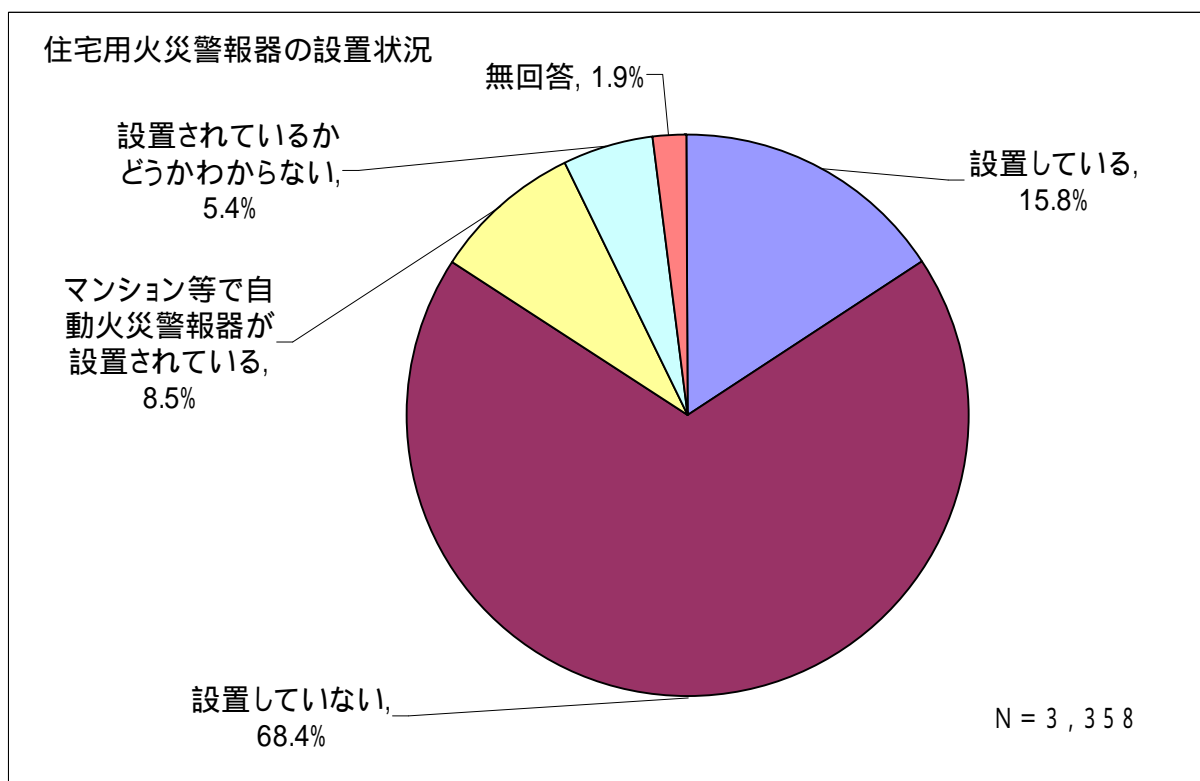


消防法が改正され、住宅の寝室に「住宅用火災警報器」を設置することが義務付けられたことを知っているかたずねたところ、知っていると回答した人の割合は56.4%、一方、「知らない」は41.6%となっている。

(2) 自宅への「住宅用火災警報器」を設置状況

「設置している」人が 15.8%

問 22 現在、自宅に「住宅用火災警報器」を設置していますか。(単数回答)



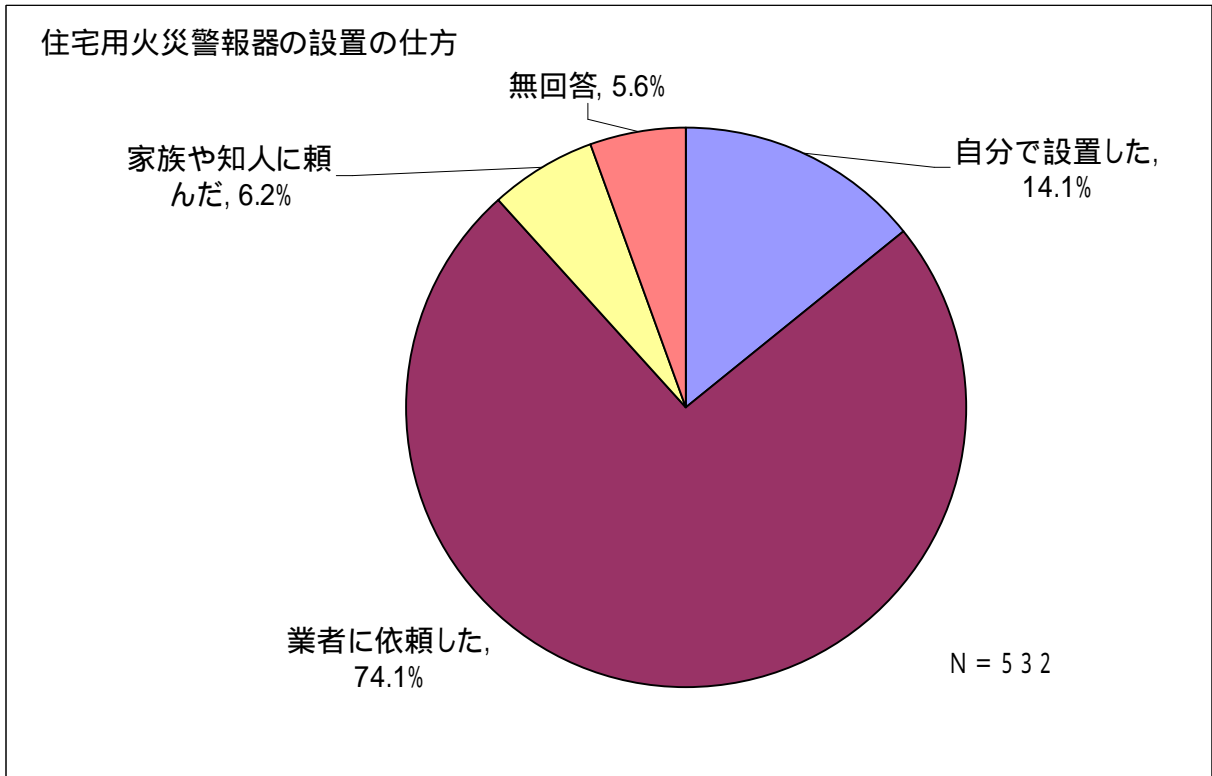
住宅用火災警報器を「設置している」と答えた人の割合は 15.8%であり、「設置していない」は 68.4%となっている。

(3)「住宅用火災警報器」の設置の仕方

「業者に依頼した」人が 74.1%

問 22 で「設置している」とお答えになった方にお伺いします。

問 22 - 1 どうやって設置されましたか。(単数回答)

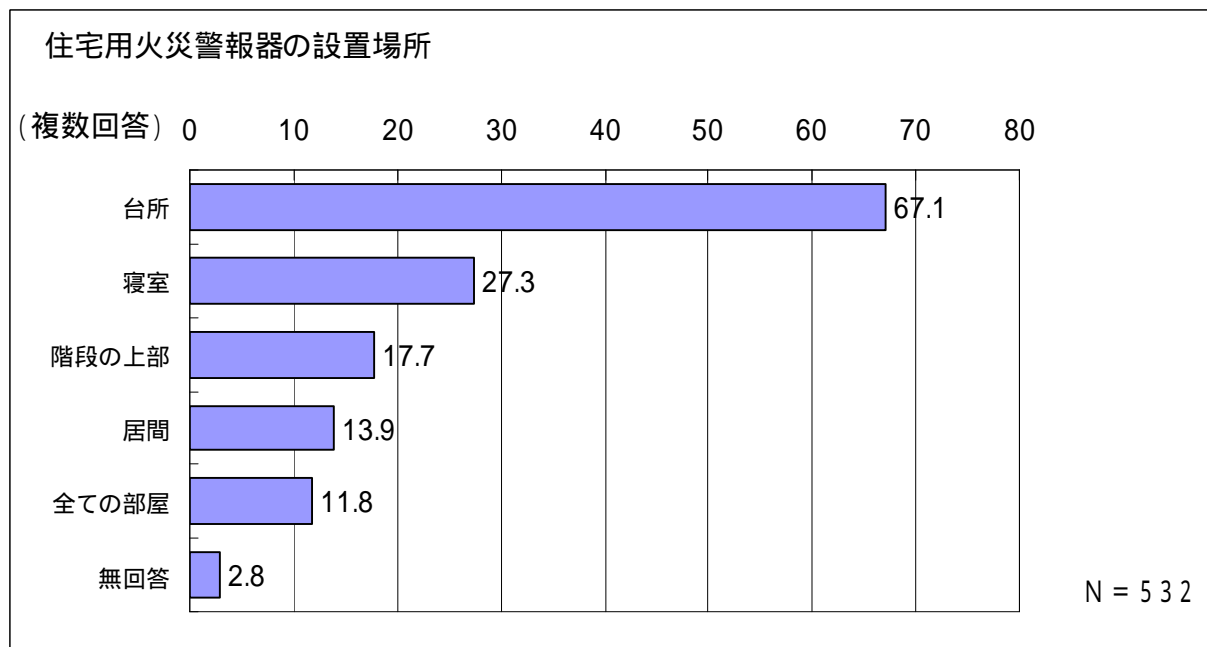


設置の仕方について、「業者に依頼した」(74.1%) が最も多く、「自分で設置した」(14.1%) を大きく上回っている。

(4)「住宅用火災警報器」の設置場所

「台所」が 67.1%

問 22-2 どこに設置しましたか。(複数回答)



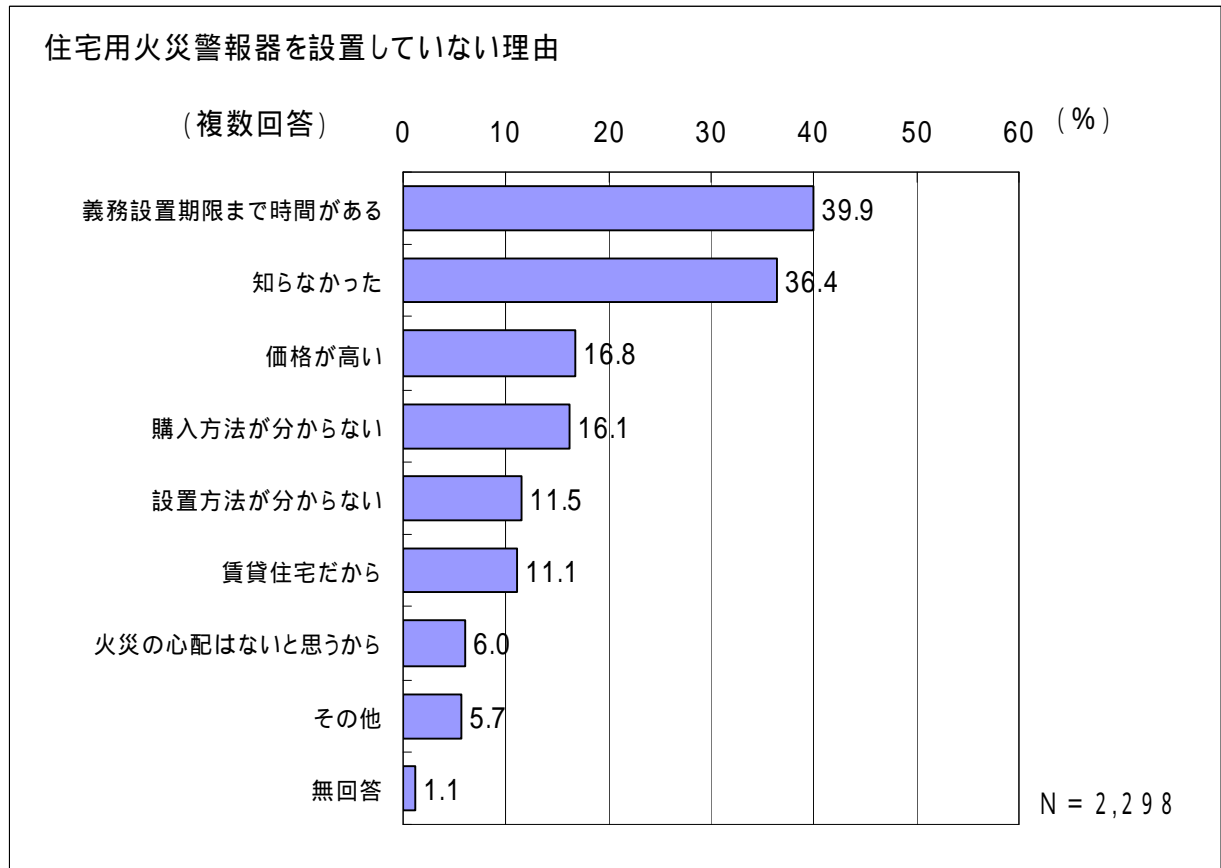
住宅用火災警報器の設置場所についてたずねたところ、「台所」と答えた人の割合が 67.1% と突出して高い。

(5) 「住宅用火災警報器」を設置していない理由

「義務設置期限まで時間がある」が 39.9%

問22で「設置していない」とお答えになった方にお伺いします。

問22-3 設置していない理由は何ですか。(複数回答)



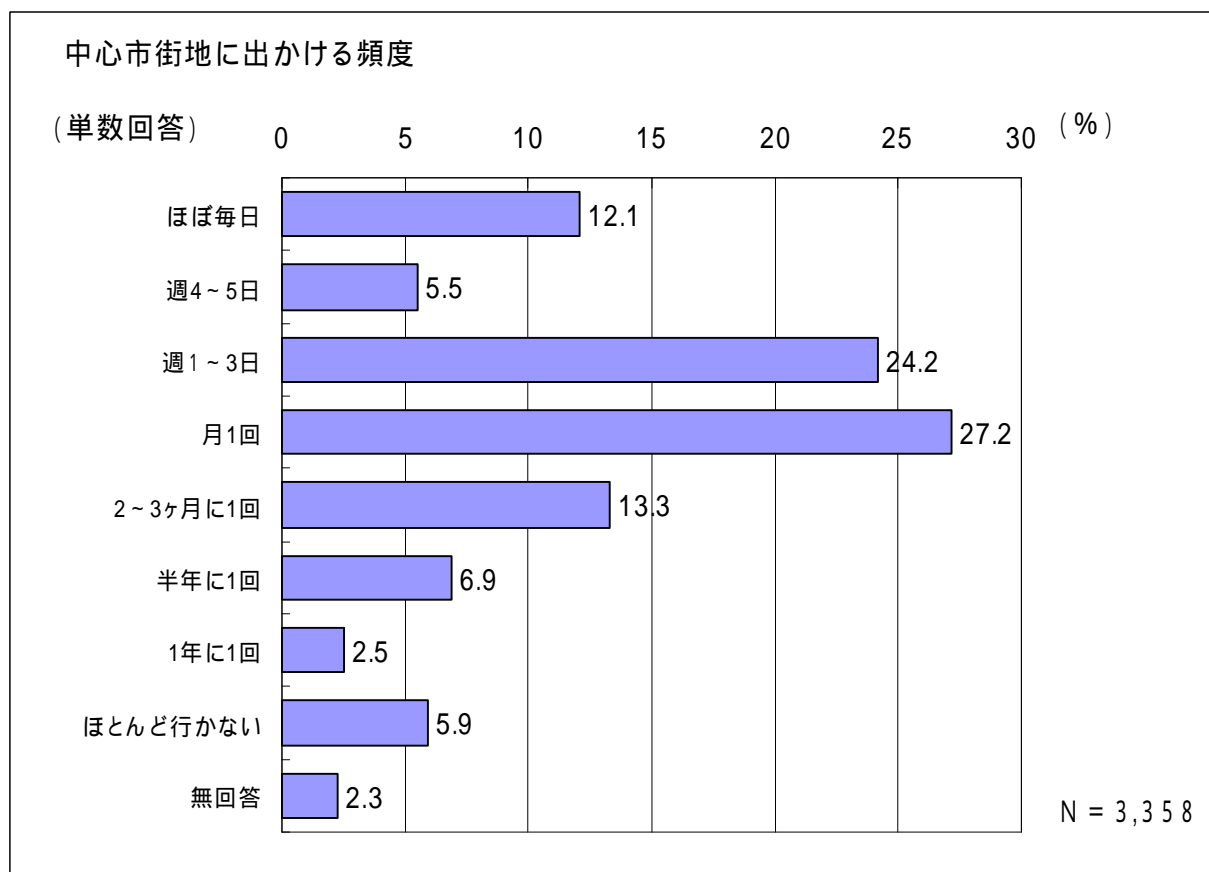
設置していない理由をたずねたところ、「義務設置期限まで時間がある」が 39.9%で最多であり次に「知らなかった」が 36.4%と続いている。

第7章 中心市街地について

(1) 中心市街地に出かける頻度

中心市街地へ「月一回出かける」が最多で 27.2%

問 23 中心市街地へ出かけることはどのくらいありますか。



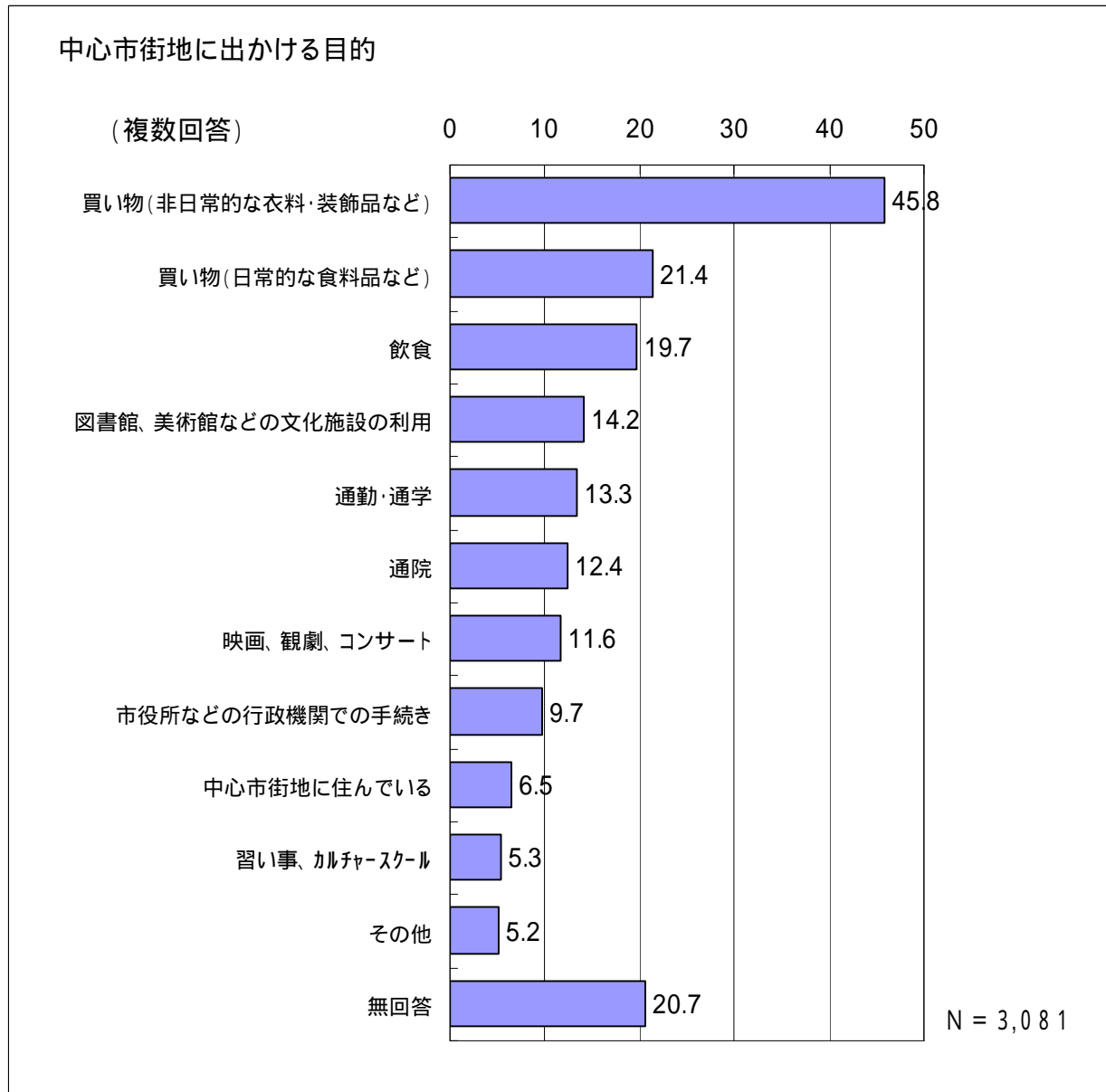
中心市街地へ出かけることはどのくらいありますかの問いに「月1回」(27.2%)と答えた人が最も多く、次いで「週1~3日」(24.2%)、「2~3ヶ月に1回」(13.3%)と続いている。

(2) 中心市街地に出かける目的

「非日常的な衣料・装飾品などの買い物」が45.8%

問23で「ほぼ毎日」～「年に1回」と答えられた方におたずねします。

問23-1 中心市街地へ出かける目的は何ですか。(複数回答)

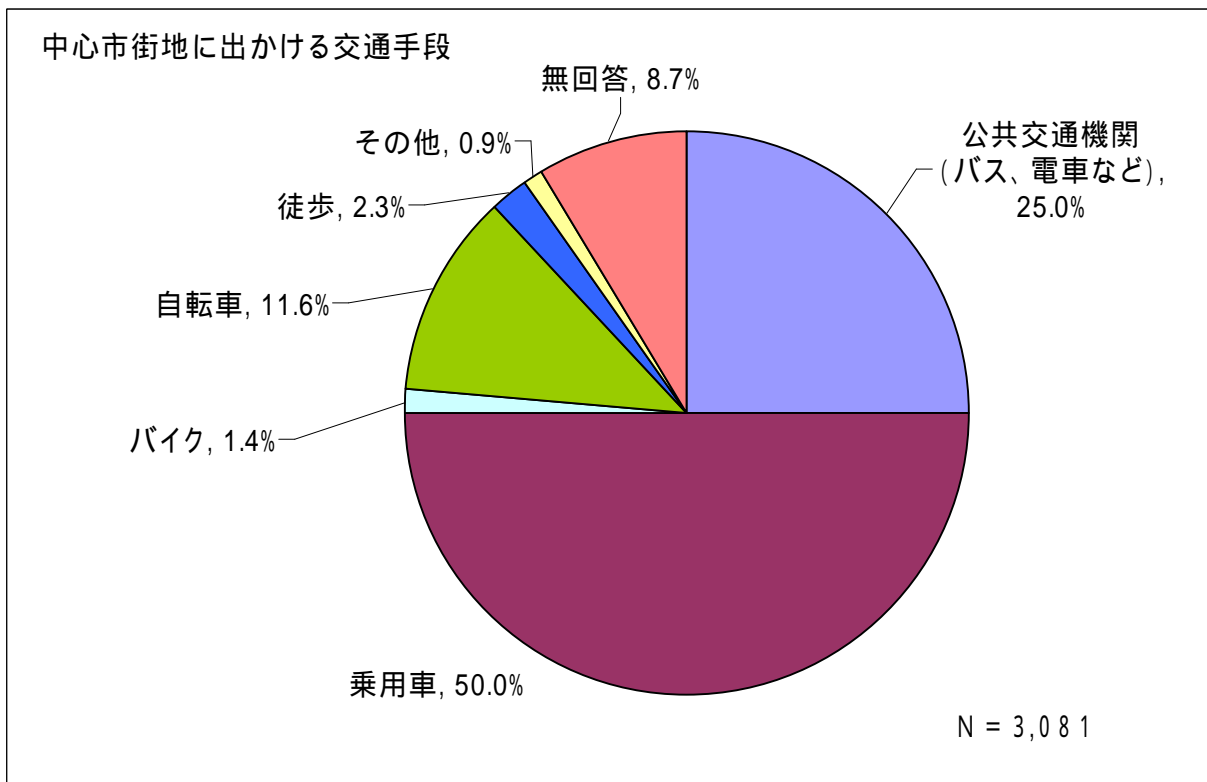


中心市街地へ出かける目的の第1位は「買い物(非日常的な衣料・装飾品など)」(45.8%)、第2位は「買い物(日常的な食料品など)」(21.4%)、第3位は「飲食」(19.7%)と続いている。

(3) 中心市街地に出かける交通手段

交通手段は「乗用車」が圧倒的に多く 50.0%

問 23-2 中心市街地へ出かける際、利用する交通手段は何ですか。(単数回答)

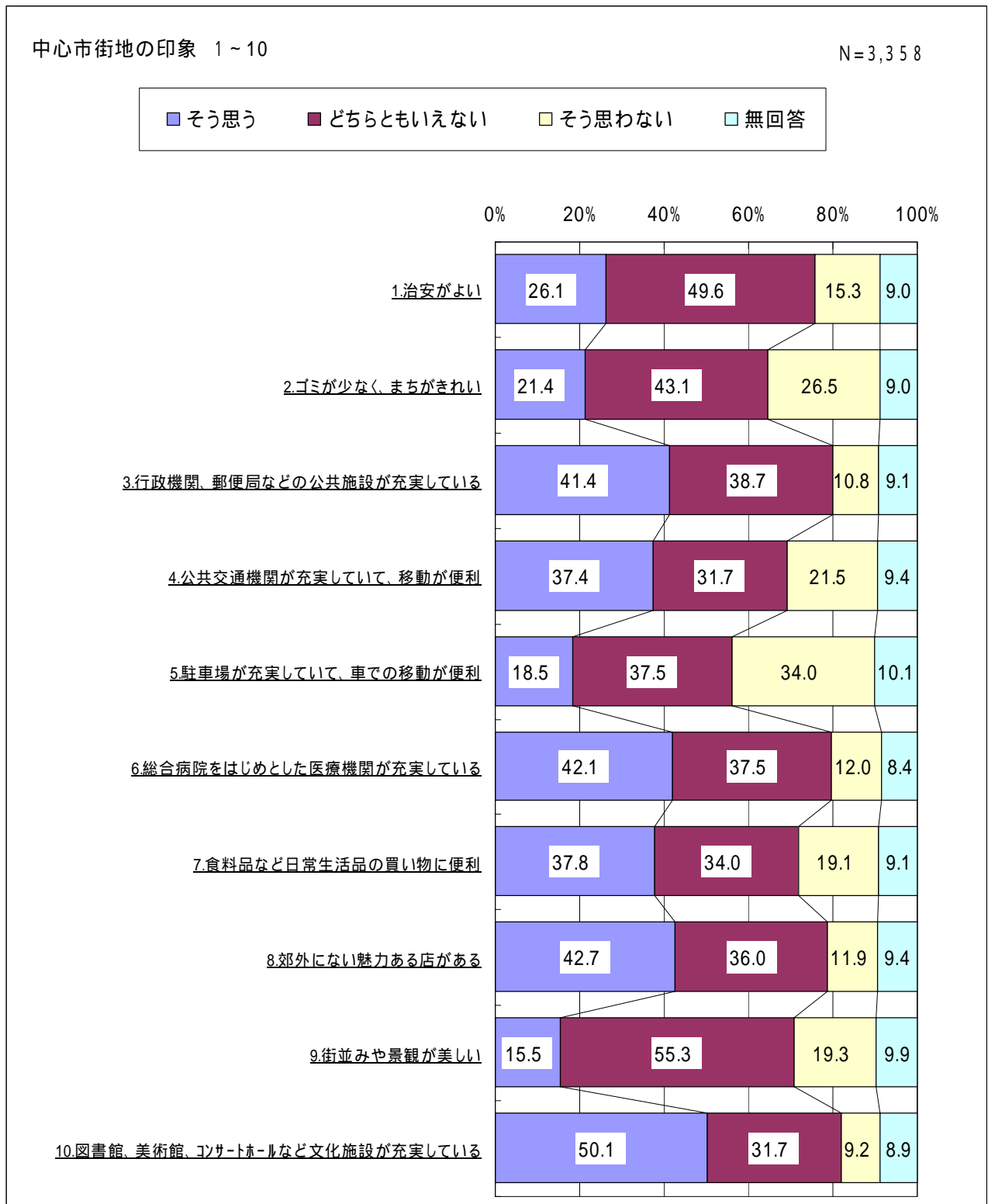


中心市街地へ出かける交通手段について、「乗用車」(50.0%)が最も多く、次いで「公共交通機関(バス、電車など)」(25.0%)「自転車」(11.6%)と続き、「乗用車」の依存度が高いことが伺える。

(4) 中心市街地についての印象

中心市街地の印象は、「図書館、美術館、コンサートホールなど文化施設が充実」

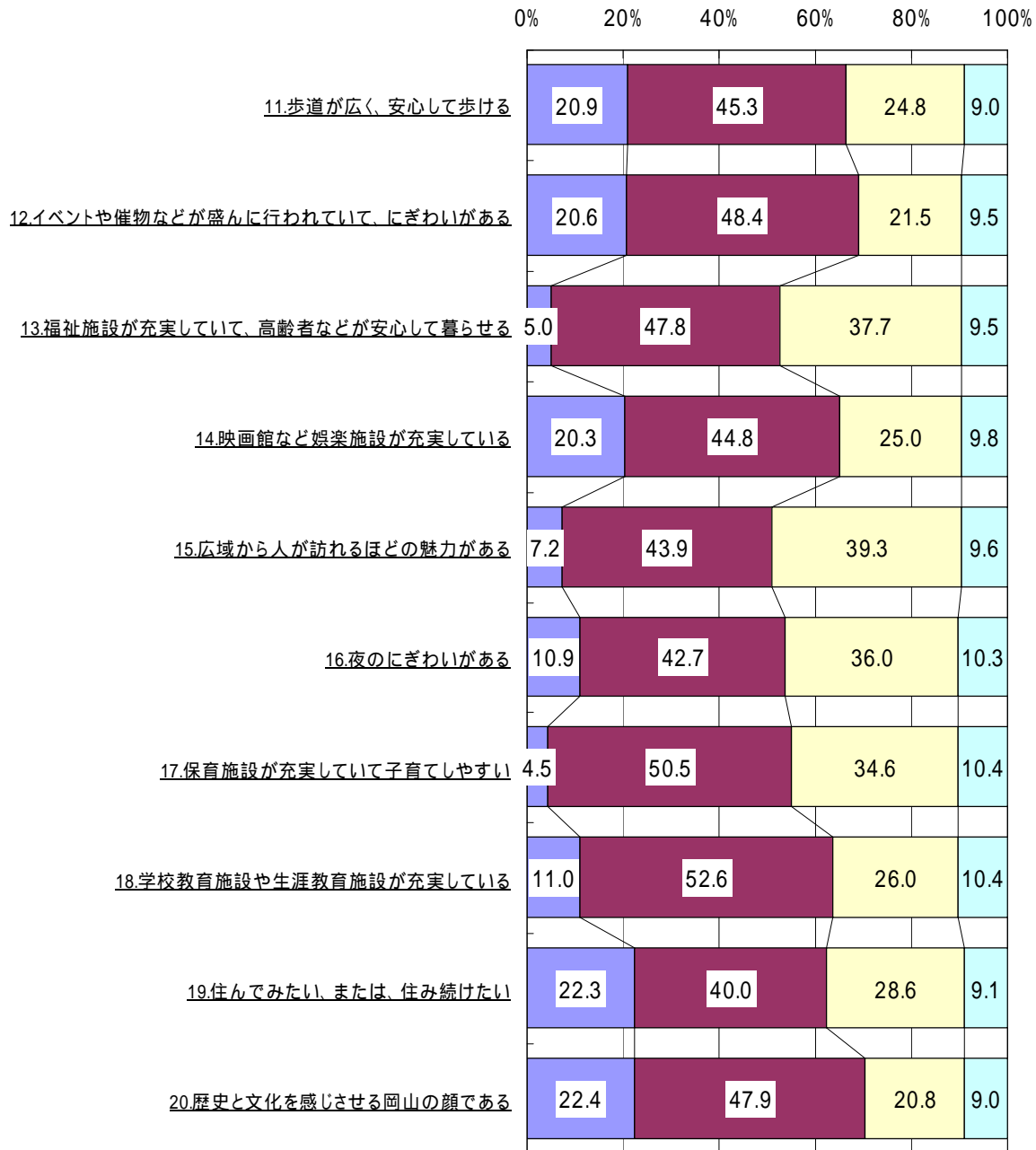
問24 中心市街地について、どのような印象をお持ちでしょうか。



中心市街地の印象 11～20

N=3,358

■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ 無回答



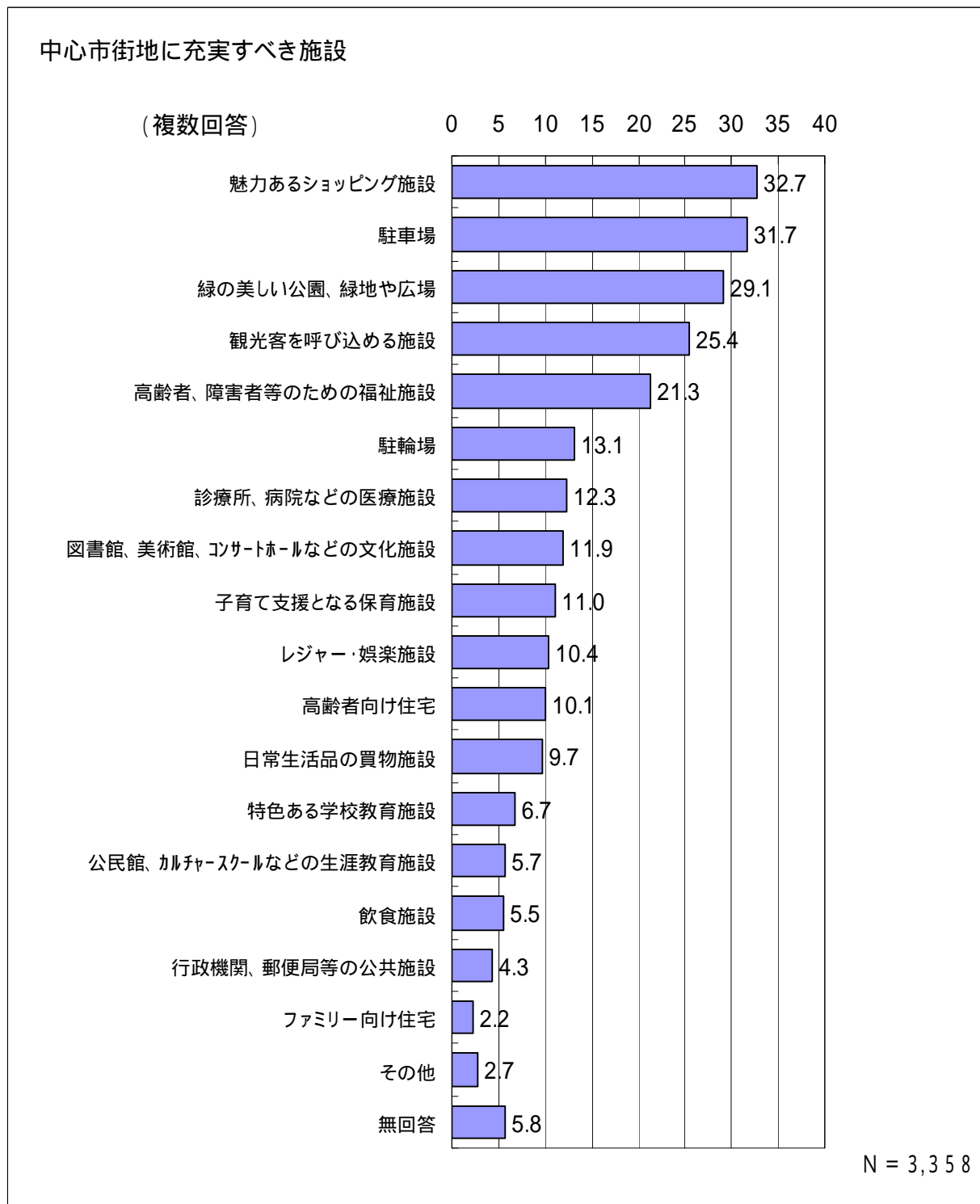
中心市街地について、どのような印象があるかたずねると、以下のような順位となる。

- 1位：「図書館、美術館、コンサートホールなど文化施設が充実している」(50.1%)
- 2位：「郊外にない魅力ある店がある」(42.7%)
- 3位：「総合病院をはじめとした医療機関が充実している」(42.1%)

(5) 中心市街地に充実すべき施設

中心市街地に充実すべき施設は、「魅力あるショッピング施設」と「駐車場」

問 25 今後、中心市街地に充実すべき施設は何だと思われますか。(複数回答)



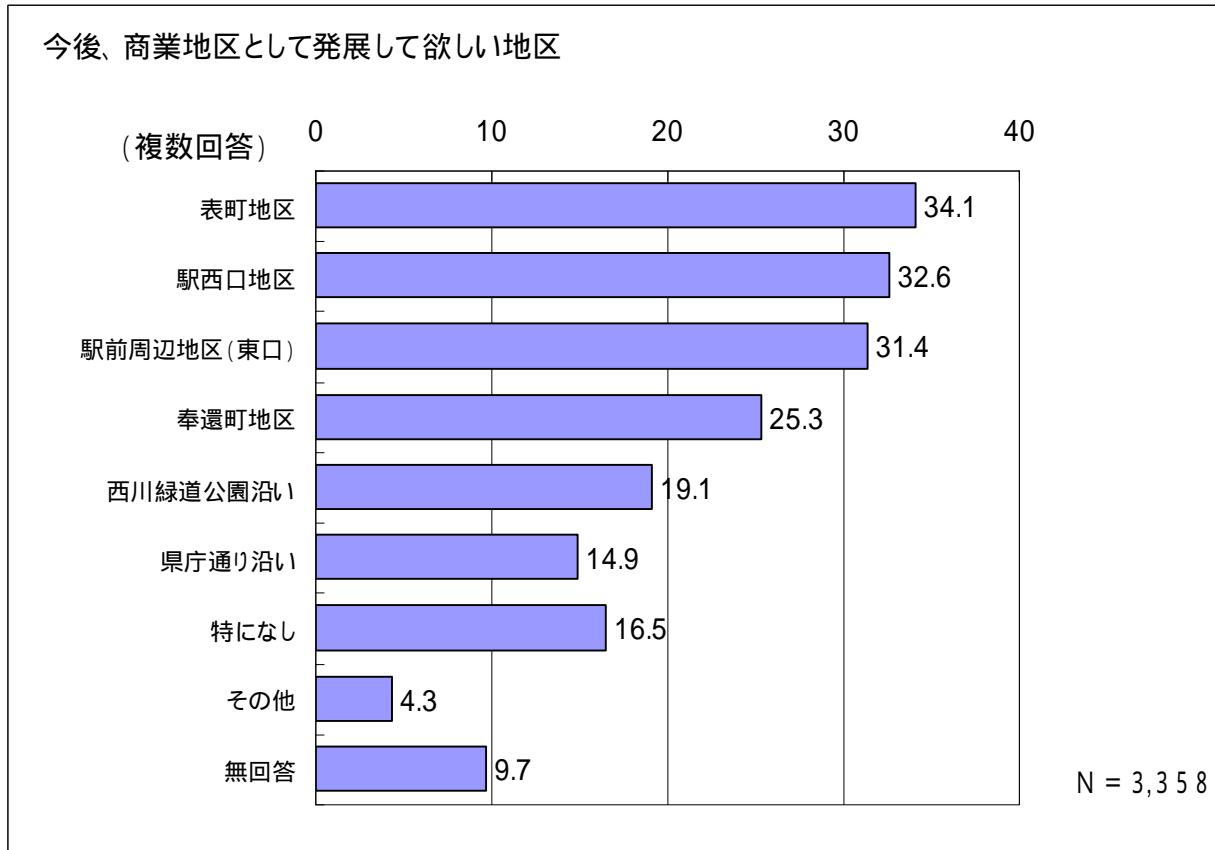
充実すべき施設を3つまで挙げてもらったところ、順位は以下のとおりである。

- 1位：「魅力あるショッピング施設」(32.7%)
- 2位：「駐車場」(31.7%)
- 3位：「緑の美しい公園、緑地や広場」(29.1%)

(6) 中心部で、商業地区として今後発展を望む地区

中心部で発展して欲しい地区は、「表町地区」、「駅西口地区」、「駅前周辺地区」

問 26 中心部で今後発展して欲しい地区がありますか。(複数回答)



中心部で、商業地区として今後発展して欲しい地区を3つまで選んでもらったところ、上位3地区は、「表町地区」(34.1%)、「駅西口地区」(32.6%)、「駅前周辺地区(東口)」(31.4%)となった。

年齢階層別に見れば、10歳代、20歳代は「駅西口地区」を挙げているが、30歳代から50歳代までは「表町地区」を挙げている。

年齢階層別

